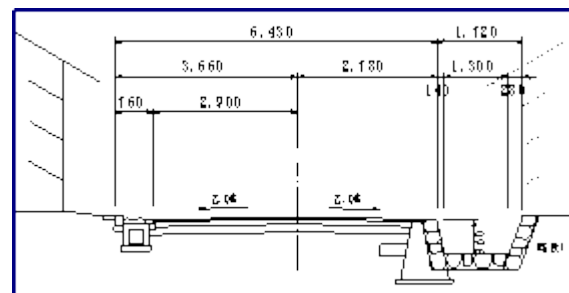


前川（仮屋用水）と熊川宿

場所・施設概要



- ▶ 場所 若狭町(熊川)
- ▶ 水源 北川、河内川
- ▶ 開水路(熊川宿)と管水路(下流水田域)の複合
- ▶ 受益農地面積 49ha
- ▶ 流量 0.31 m³/s



歴史

前川は、鯖街道の宿場町として栄えた熊川宿の中を流れる用水路です。熊川宿には伝統的建造物群が多く、その重厚な家並みの脇を流れる本用水は宿場町の景観をより一層引き立てています。

平成11年には中ノ町の景観が整備され、その後下ノ町、上ノ町と整備が順次進められ、平成17年度で全ての景観整備が完了しました。

電線が地中化された道路は土舗装に、また前川も石積み護岸に整備されました。



重要伝統的建造物保存地区の案内

地域での役割

現在の前川は、駒ヶ岳から流れる河内川と北川を水源とし、下流の水田(49ha)のかんがい用水として利用されています。

また、歴史ある水路を感じさせる護岸や、家ごとに「かわと」と呼ばれる水利施設が設置されており、現在も西瓜を冷やしたり、小さな水車風の「芋洗い器」がかけられたりと日常生活に欠かせないものです。

平成8年度には重要伝統的建造物群保存地区、歴史街道、水の郷百選を受賞しており、歴史的・文化的にも高く評価されています。

管理状況

用水や施設の管理は、三宅土地改良区と若狭町が地域住民や水利組合・自治会などと協働して行われています。

用水の状況

